MAENAN SAH Journal VoL185
～『自分で考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～ 2026/11/2

SAH×学習 リスニングを克服せよ！

苦手なものを克服したいという思いは誰にでもあるでしょうか。ましてや進路に直結する科目はなおさらだよね。英語科では生徒自身がセルフチェックできるように以下のような指針・アドバイスを示しています。“自分自身を知る”、“自分で考え分析し改善していく”。これこそがまさに、成長する“ルート”です。今号は例として「共通テストのリスニング」の原因・対策シートを紹介します。（編集　教頭）

Ⅰ　共テリスニング　第１問・第２問の失点原因チェックシート

まずは、あなたが以下のどの状態に陥っているかを確認してください。多くは**①と②の併発**です。

	失点している原因・理由	生徒の脳内で起きていること
①	**音の「文字化」ができていない** （知っている単語なのに聞き取れない）	英語特有の「音声変化（リンキング）」に対応できず、流れた音が知っている単語と結びついていない。
②	**脳内日本語訳のスピード不足** （意味を考えている間に次へ進む）	英文を「後ろから返り読み」して日本語に訳そうとしているため、2回目の音声が終わっても処理が追いつかない。
③	**先読み（準備）ができていない** （何を聴けばいいか分からない）	設問やイラストを事前に見ずに音声を聴き始めている。または、視覚情報（イラスト）の「差分」に注目できていない。
④	**1問のミスを引きずっている** （メンタル・集中力の崩壊）	わからない問題があったときに執着してしまい、次の問題の先読み時間を失うドミノ倒しが起きている。

自分がどれに当てはまるか、「認識」できましたか？認識できたら以下のⅡへ進もう。

Ⅱ　共テリスニング　具体的な改善トレーニング（指導法）

原因に合わせた以下のステップを踏むことで、短期間でも劇的に改善します。

ステップ１：音と文字を一致させる（原因①の解消）

単語帳を目で見るだけでなく、**「音を聴いて真似して発音する」**練習が必要です。

改善ワーク：ディクテーション（書き取り）

第１問・第２問の過去問や予想問題の音声を使い、１文ごとに止めてスクリプトを書き取ります。

効果：「消える音（an hour ➔ アナワーなど）」や「つながる音」が可視化され、自分の耳がどこを誤認しているかが一発で分かります。

ステップ２：英語の語順のまま理解する（原因②の解消）

返り読みを矯正し、聴こえてきた順番に意味を理解する脳を作ります。

改善ワーク：シャドーイング ＋ 意味の塊（チャンク）意識

スクリプトを見ながら、音声の 0.5 秒後ろを追いかけて発音します。

その際、学校の授業でやるような綺麗な日本語にするのではなく、**「主語は / 動詞した / ～を / どこどこで」**という英語の語順のまま頭にイメージを浮かべる訓練を徹底します。

ステップ 3：「先読み」のルール化（原因③・④の解消）

第 1 問・第 2 問は、**音声が流れる前の「5 秒～10 秒」で勝負の 8 割が決まります。**

イラスト問題（第 2 問）の対策

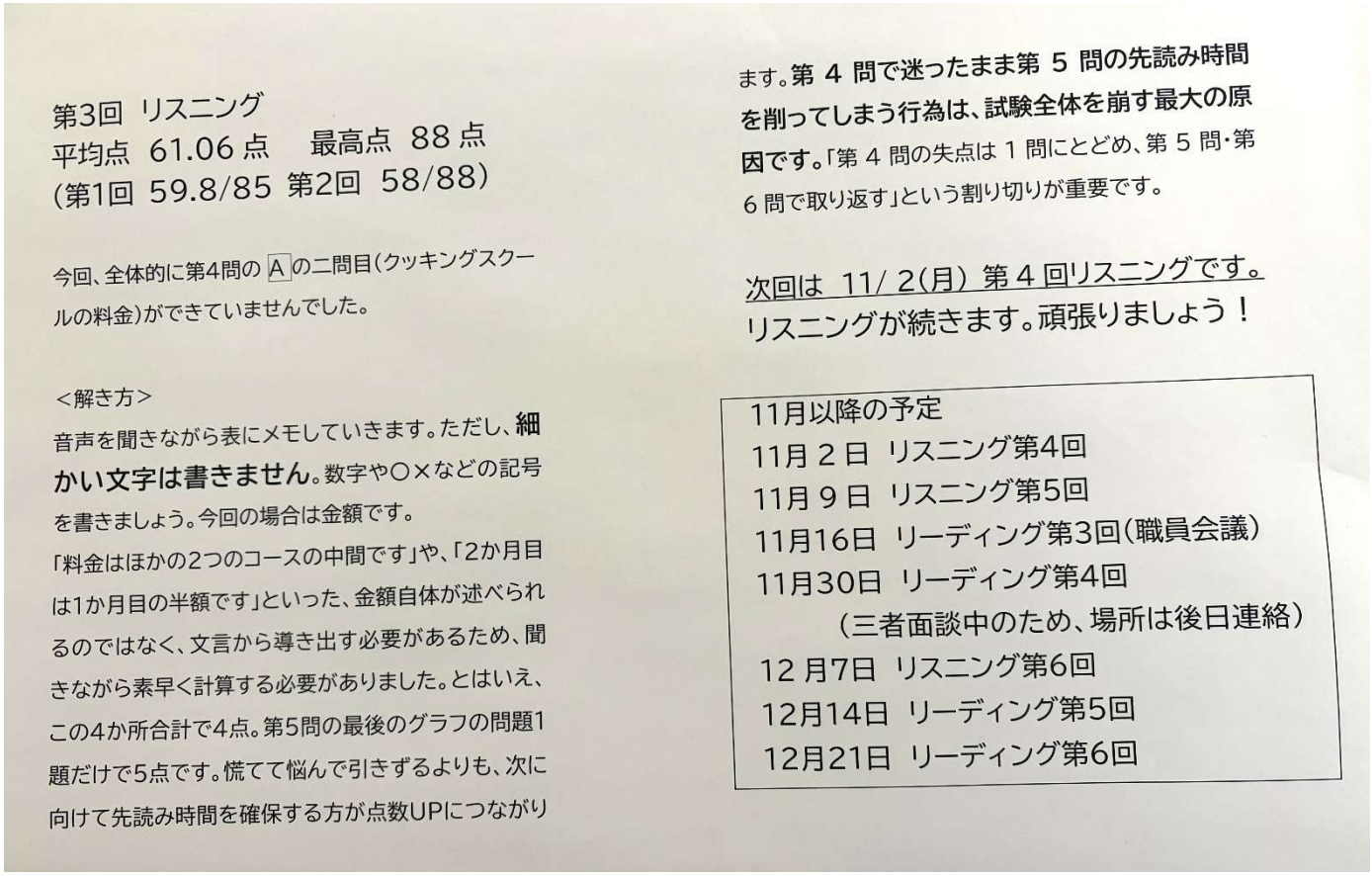
4 つのイラストをパッと見て、「何が違うか（服の色、持っている物、位置関係など）」の**差分に○をつけます**。

例：「時計の針が 3 時か 4 時か」「男が立っているか座っているか」を先に把握していれば、音声の中の ”three” や ”sitting” という単語だけに全神経を集中できます。

切り替えの割り切り

1 つの問題が終わったら、正解が分からなくても**即座にマークして次の問題の選択肢を見る**ルーティンを徹底してください。

南校舎2階の西棟間通路には・・・このような掲示がされています♪



第3回 リスニング
平均点 61.06 点　最高点 88 点
（第1回 59.8/85 第2回 58/88）

今回、全体的に第4問の A の二問目（クッキングスクールの料金）ができていませんでした。

＜解き方＞
音声を聞きながら表にメモしていきます。ただし、**細かい文字は書きません。**数字や○×などの記号を書きましょう。今回の場合は金額です。
「料金はほかの2つのコースの中間です」や、「2か月目は1か月目の半額です」といった、金額自体が述べられるのではなく、文言から導き出す必要があるため、聞きながら素早く計算する必要がありました。とはいえ、この4か所合計で4点。第5問の最後のグラフの問題1題だけで5点です。慌てて悩んで引きずるよりも、次に向けて先読み時間を確保する方が点数UPにつながります。**第 4 問で迷ったまま第 5 問の先読み時間を削ってしまう行為は、試験全体を崩す最大の原因です。**「第 4 問の失点は 1 問にとどめ、第 5 問・第 6 問で取り返す」という割り切りが重要です。

次回は 11/ 2(月) 第４回リスニングです。
リスニングが続きます。頑張りましょう！

11月以降の予定
11月２日 リスニング第4回
11月９日 リスニング第5回
11月16日 リーディング第3回（職員会議）
11月30日 リーディング第4回
（三者面談中のため、場所は後日連絡）
12 月7日 リスニング第6回
12月14日 リーディング第5回
12月21日 リーディング第6回

これから本格的に共通テストの演習に入ります。「何をどれだけ伸ばすか（伸ばさなきゃならないか）」を自覚して演習すると効果は「倍」です。ここからが勝負。リスニング上げたい組はもう一度しっかり読み直そう。